

労働法コラム

第38回

パワハラを受けたら！



黒崎合同法律事務所
溝口 史子 弁護士

他の証拠として考えられるのは、パワハラを目撃した同僚の証言ですが、同僚が同じ勤務先で勤務を継続している場合、勤務先に対して不利な証言をすることは難しいでしょう。このため、退職者や非正規社員等、ある程度勤務先から距離を置いている人の証言を得る努力が必要となります。同様にパワハラ被害にあった同僚や退職者がいる場合には、有力な証言が得られる可能性があります。

パワハラのご相談を受けたときに、一番苦労するのは、ハラメントを証明するために必要な証拠集めです。パワハラの内容が暴力に及ぶ場合には、医師の診断書や写真（あざや腫れ等）が重要な証拠となります。受傷後早めに医療機関を受診する等して、客観的証拠を残しましょう。パワハラの内容が暴言等によるいじめである場合、直接的な証拠は被害者の証言です。しかし、加害者がパワハラの実態を認めないことも多く、被害者の証言の信用性を高めるために、その他の証拠が必要となります。

また、被害実態を録音することも有用です。この点、裁判所は、録音が著しく反社会的な方法を用いて収集された場合は録音の証拠能力を否定する、としています。裁判例によるならば、被害者が加害者と会話する際、ポケット等に録音機材をしのばせて録音することは「反社会的方法」とまでは言えず、証拠として認められると考えてよいでしょう。他方、被害者があえて加害者を挑発し、ハラメント文言を引き出した場合等は、「反社会的」と評価され、証拠として認められなかったり、証拠としての価値が低くなったりするおそれがありますので、注意が必要です。メールや手紙も証拠となります。被害者作成のメモや日記は、被害者の証言に準じたものとして扱われますが、継続的に記載さ

れたものである場合には信用性が高く評価される場合があります。裁判例では、毎日記載されたものではなかったり、被害者がパワハラ以外の悩みについてほとんど記載していなかったり、複数日の記載が類似していたりするものについては、被害者がパワハラに関する記載を後日まとめて行ったおそれがあるとして、信用性を認めなかった事例もあります。パワハラを受ける中、ハラメントの証拠を残すのはとても大変で、勇気が要ることだと思います。問題解決のために、周りに相談しながら、準備をすることをお勧めします。

消費税増税中止 民主的税制・税務行政の実現！

3・13重税反対全国統一行動小倉地区集会

「消費税増税中止、戦争法・マイナンバー廃止、民主的税制・税務行政の実現へ全国民が声を上げ、共同を広めよう」をスローガンに、「3・13重税反対全国統一行動小倉地区集会」が、3月13日（月）13時から健和会看護学校体育館で開かれました。

この集会は全国560か所で行われたもので、統一行動には、民主商工会や福建労、年金者組合などから約400人が参加しました。主催者あいさつの後、来賓として大石市議、永富地区労連議長があいさつ、集会宣言が民商堀田青年局長から提案され満場の拍手で確認されました。地区労連からは堀田副議長、道下事務局長が参加しました。

決起集会終了後、小倉税務署までデモ行進を行い集団申告を成功させました。北九州地区では、門司地区が3月13日13時30分から「旧大連航路上屋」で、戸畑・八幡・八幡西地区が3月13日の14時から「響ホール」で、若松・中間遠賀地区が3月10日10時から「若松市民会館」で集会を開催しました。



重税反対集会の後、小倉税務署に集団申告に向かうデモ隊

戦争法即時廃止！小倉駅前宣伝



3月4日（土）11時から、小倉駅前での戦争法廃止を求める宣伝行動が取り組みました。北九州憲法共同センターが毎月の定例として行っているものです。（4月は1日・土曜日11時小倉駅前）。この日の行動参加は20人、集めた署名は「戦争法の廃止を求める統一署名」が74筆、「沖縄県県民の民意尊重と、基地の押し付け撤回を求める全国統一署名」が24筆となりました。

今回は、天気も良く、駅前の人の流れも多く、若い人も署名していました。

北九州地区労連ニュース

2017年 3月号 No. 125

発行 北九州地区労働組合総連合

連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号

メール k_oren@ybb.ne.jp ☎ 093-921-0747

ホームページ http://www.geocities.jp/k_oren/

解雇・残業代未払い・パワハラ
あきらめないで電話して下さい
秘密厳守 労働相談ホットライン
相談無料

093-921-0747

メール k_oren@ybb.ne.jp

2017年春闘勝利をめざす地域一日総行動 第2・3弾実施 九州電力と教育委員会に要求前進を求めて要請

北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は、2017年春闘での前進をめざす地域一日総行動を取組みました。地域一日総行動は、2月17日の早朝宣伝、北九州市要請（全労連要請書、公契約条例制定の要請）、北九州商工会議所要請（全労連統一要請書）を行い、2月21日九州電力北九州支社（すべての原発の廃炉を求める要請）、22日は北九州市教育委員会（学校給食職場の民間委託を中止し検証をおこなう事、給食職場で働いている非正規職員全員の継続雇用などを求める要請）を行いました。この行動には、延べ81人の組合員・役員が参加しました。

2月21日と22日に、「2017年春闘前進をめざす地域総行動」当日に実施できなかった「九州電力北九州支社」と「北九州市教育委員会」への要請行動を実施しました。

2月21日は13時に九州電力北九州支社のフロアに集合し、会議室で九電側公法防災担当課長と広報グループ長と懇談を行



九電北九州支社に、すべての原発の廃炉を求めて要請を行いました



教育委員会に継続雇用を求める出口学嘱労委員長

いました。

永富春闘共闘議長が「玄海原発の再稼働中止を求める要請書を手渡し、参加者が「電気は足りてのになぜ再稼働なのか」、「再生可能エネルギーの方が実は低コストなのでは」などと市民の本音が語られ、約一時間懇談しました。8名が参加しました。翌22日は11時から小倉北区役所6階の教育委員会で、教育委員会総

務課課長ら2名の対応で懇談会を実施しました。

永富議長から「学校現場で働く非正規社員の雇用継続を求める要請書」が手渡され、学嘱労出口委員長が「給食の民営化についての問題点」「非正規職員の雇用に対する不安」「学校事務補助員の廃止」などの問題について意見を述べました。

ツクイマタハラ裁判をたたかった西原さん笑顔で復職し元気いっぱい頑張っています



雨あがり

春、涙の季節。卒業式に卒業式。お世話になった先生方との別れに涙。友との別れに涙。そして、教師は、心を込めて向かい合った子ども達との別れに涙。それぞれに、万感胸に迫るものがあると思います。読者の中にも、お子様やお孫さんがこの春卒業（卒園）したという方がおられるのではないのでしょうか。

教育に関する問題と言えば、「森友学園」問題である。「8億円も負けてもらってるってすごい。私を買っても負けてくれるかねえー？」と同僚の素朴な疑問。ここから派生した数々の問題。「この学園の教育方針は素晴らしい。夫も、褒めていた。」といった趣旨の発言をしていた安倍首相夫人。「土地売買に何も関与していないのだから問題なし。」と首相は言う。しかし、同学園へ講演に行き、新設されるはずだった小学校の名誉校長に収まり、この学園を後押ししていた事実に対しての責任をどう考えているのか。

こちらは、涙でなく怒りである。(或)

安倍政治を許さない！福岡集会に4000人結集 市民と野党の共同で安倍政治に鉄槌を！

3月19日13時30分から福岡市冷泉公園で、安倍政治を許さないin福岡集会(実行委員会主催)が開かれ、福岡県労連参加の労働組合や新日本婦人の会、民主商工会などから党派の違いを乗り越え4000人を超える、安倍政治を許せない共通の思いを持った仲間が集まりました。北九州からも、北九州地区労連加盟組から、北九州地域ユニオン、北九市職労、健和会労組、福建労、JMIU、建交労、KOH労働組など多くの労働者が参加しました。

集会では、伊波参議院議員(沖



安倍政治を許さない！会場を埋め尽くす4000人の仲間が参加



市民と野党の協力で衆議院選勝利で野党連合政治の実現を！

縄(風)の講演があり、「安倍政権が続けばアメリカの抑止力確保のため日本全体が戦場となるのは明らかだ。」「辺野古新基地と高江のヘリパット建設でアメリカ言いなりの安倍政権を批判し、『平和な日本を築くため』オール沖縄からのような戦いを全国で実現しよう」と力強く訴えました。

また、集会では、労働者の現状、中小業者の声、女性の権利、医療社会・保障の現状、原発再稼働反対、安民法制違憲訴訟など6つの課題についての労働者や市民がスピーチし、すべての分野でのた

たかひの発展で安倍政治を追い詰めていこうと訴えました。続いて参加している議員からの発言もあり、日本共産党田村衆議院議員は「野党連合政治の実現のために全力を尽くす。」と述べ、社民党吉田忠智党首、緑の党荒木福岡市議からも野党共闘の実現で与党勢力に鉄槌を下そうとの訴えがありました。

集会終了後4コースに分かれて天神警固公園に向けてデモ行進を行い、天神の町に「安倍政治を許さない」の音が響き渡りました。会場で訴えたカンパは、50万円を超えました。



天神の街に、「安倍政治を許さない！」の音が響き渡りました。

北九州地区労連 (その5)

新役員のプロフィール



幹事
亀田 雅徳さん
(戸畑地区協議会)

北九州地区労連に幹事として、戸畑地区協から選出されている亀田です。職場は戸畑けんわ病院で仕事をしています。今期戸畑けんわ病院支部の支部長を務めることとなりました。

また、地区労連の幹事になり9年が経過し、朝ピラや集会などの活動に参加してきました。幹事内の役割としては機関誌を担当しています。今後もしろいろな活動に参加していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。



副議長
堀田 和夫さん
(地域ユニオン)

地区労連運動にかかわって、ずいぶん長くなります。今は、北九州地域ユニオンの推薦で副議長として頑張らせていただいています。

地区労連には、毎日のように様々な悩みや要求を持った末組織労働者からの相談が寄せられます。道下事務局長と一緒に相談に乗り、会社と交渉し解決を目指しています。

相談にこられた労働者の要求が解決し、労働者の喜ぶ姿が私のただたう原動力となっています。

永富議長のお音頭で2017年春闘勝利をめざして「団結して頑張ろう」を3唱しました。



春闘要求の前進をめざし3・16総決起集会を開催 北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連が共催で



春闘要求前進3・16総決起集会で主催幹挨拶をする永富北九州春闘共闘連絡会議長

永富春闘共闘議長は、「回答指定日を過ぎ、医労連やJMI-TUなどに回答が始めているが厳しい内容だ。連合は政労使交渉で残業時間の上限規制を「100時間未満」で合意するなど労働実態を無視するもので許せない。すべての加盟組合で賃金底上げ、生活改善を目指して奮闘しよう！」とたたかう決意をのべました。道下事務局長が春闘情勢を報告したのちに、健和会労組八木委員長、全印

3月16日(木)18時30分、小倉駅前広場で北九州春闘共闘連絡会は、2017年春闘要求の前進をめざし決起集会を開催しました。この集会は、3月15日が国民春闘共闘の回答指定日であり、北九州でも健和会労組などがストライキを構えて交渉を継続する中で、北九州でも春闘を闘っている労働組合が存在することを市民にアピールすることを目的に計画されたものです。集会には、北九市職労、医労連健和会労組、国公北九州、JMI-TU、全教北九州、学嘱労、地域ユニオンなどから60人が参加し、2017年春闘での要求前進をめざし奮闘する決意を固めました。

みんなて要求みんなてたたかいみんなて実現!



各組合の組合旗・のぼり旗は市民に大きくアピールしました

総連KOH労働組伊藤副委員長、年金者組合野瀬役員、学嘱労出口委員長、全教北九州中川書記長、地域ユニオン西原役員など6団体の代表からそれぞれ決意が述べられました。闘争宣言は市職労坂内書記次長が力強く読み上げ大きな拍手で採択され、シュプレヒコール、団結ガンバローで締めくくられました。

小倉駅前に掲げられた、北九州春闘共闘などの大きな赤旗と各組

合のぼり旗は市民に対するアピールになりました。

第88回北九州統一ミーティング
5月1日 勝山公園図書館横広場で開催 第1回実行委員会を確認

第88回北九州統一ミーティングは、2017年5月1日(月)10時から、勝山公園図書館横広場で開催されることが決定しています。

このミーティングを成功させるために、3月14日18時30分から生涯学習総合センターA会議室で第1回実行委員会が開催され、15団体18人が参加しました。実行委員会はこの会議で、ミーティング(87回決算・88回予算)について、役員体制、次第素案、今後の日程などについて協議・確認しました。ミーティング当日までにあと3回の事務局会議と実行委員会が開催されます。

ミーティング実行委員会参加の各団体に積極的な参加を呼びかけます。

東日本大震災・原発事故6年
「さよなら原発!3・11北九州集会」

3月11日、勝山公園で開かれた、「さよなら原発!3・11北九州集会」に、さよなら原発の思いをひとつに2000人の労働者・市民が集まりました。集会は、11時からバザー、ライブステージとして、北九州で活躍しているうたごえの仲間やバンド演奏、バザーなどを楽しむことが出来ました。

本集会は13時から始まり、主催者挨拶、深江事務局長基調報告、福島原発事故収束作業に従事し白血病に冒された作業員からの訴えの後、各団体からのアピールには、全港湾労組青年や健和看護学院学生、エフコープ生協など若い元気の発言がありました。集会宣言が満場の拍手で承認され、「原発とめろ!再稼働反対!」「全ての原発今すぐハイロ」「子孫に残すなケンな原発!今すぐ廃炉」などの声を繁華街に響かせながら小倉駅までデモ行進を整理と行いました。



原発止めろ!再稼働反対のシュプレヒコールをしながら小倉駅までデモ行進